

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	令和7年度 第1回入間市文化財保護審議委員会
開 催 日 時	令和7年8月1日 (金) 午後1時30分開会・午後3時45分閉会
開 催 場 所	入間市博物館 会議室
議 長 氏 名	鹿島 英明
出席委員 (者) 氏名	鹿島 英明 枝窪 邦茂 柳澤 かほる 荒牧 澄多 小峰 孝男 青木 和子 工藤 宏 小野 一之 河東 義之 児玉 俊雄
欠席委員 (者) 氏名	
説明者の職氏名	博物館館長 大久保 卓 副主幹 三浦 久美子 主任 宮岡 久
会 議 次 第	(すべて公開) 1 開 会 2 委員長挨拶 3 議 題 (1)「旧石川組製糸西洋館保存活用計画」の改定について 4 報 告 (1)令和6年度文化財保護事業及び活用状況の報告について (2)令和7年度文化財保護事業及び活用計画について (3)新規指定文化財の指定について (4)旧黒須銀行復元修理工事の進捗について (5)国登録有形文化財 (建造物) の新規登録について (6)市指定文化財「藤沢橋石造仏群」の状況について (7)その他 5 その他 6 閉 会
傍 聴 者 数	0人
配 布 資 料	資料1:「旧石川組製糸西洋館保存活用計画」(改定案) 資料2: 令和6年度文化財保護事業及び活用状況の報告について 資料3: 令和7年度文化財保護事業及び活用計画について 資料4: 新規指定文化財一覧 資料5: 国登録有形文化財 (建造物) の新規登録について 資料6: 市指定文化財「藤沢橋石造仏群」の状況について
事 務 局 職 員 職 氏 名	・教育部部長 浅見 泰志 ・博物館館長 大久保 卓 ・博物館主任 宮岡 久 ・教育部次長 新屋 明德 ・博物館副主幹 三浦 久美子
会議録作成方法	要点筆記

会 議 録 (2)

議事の概要（経過）・決定事項

〔議 題〕

・次の事項について、事務局から説明を行い、審議を行った。

(1) 「旧石川組製糸西洋館保存活用計画」の改定について

第1章から第3章については、字句や地図等の修正や意見を反映したものを次回確認し、第4章・第5章については意見をいただいた方向性により原案を作成し、今後も審議を進めることとなった。

〔報 告〕

・次の事項について、事務局から説明を行い、質疑応答を行った。

(1) 令和6年度文化財保護事業及び活用状況の報告について説明

(2) 令和7年度文化財保護事業及び活用計画について説明

(3) 新規指定文化財の指定について説明

(4) 旧黒須銀行復元修理工事の進捗について説明

(5) 国登録有形文化財（建造物）の新規登録について説明

(6) 市指定文化財「藤沢橋石造物群」の状況について説明

今回の移設により併設された2基の石造物について、追加指定に向けた手続を進めることになった。

会 議 録 (3)

発言者	発 言 内 容
鹿島委員長	4 議 題 (1) 「旧石川組製糸西洋館保存活用計画」の改定について 議題へ入ります。本日の出席員は10名出席です。規定に基づき会議は成立しておりますのでご報告いたします。 「旧石川組製糸西洋館保存活用計画」の改定については、昨年度から、議題として検討しておりまして、前回までに項目や基本方針についても少しご意見をいただいているところです。本日は計画のうち、「1 計画の作成」から「3 現在までの経過」を中心に審議を進め、「4 西洋館の概説」、「5 基本方針」については、作成の方向性についてご意見をいただくことといたします。 それでは「1 計画の作成」について、説明をお願いいたします。
三浦副主幹	「1 計画の作成」について説明
鹿島委員長	ただいま説明がありました「1 計画の作成」についてですが、本計画の位置付けを記載する5項目になります。特に計画の主旨については建物の価値、これまでの経過、今後の方向性等が記載されています。建物の文化財的な価値、保存活用の方針については、別の項目で記載することになっていますので、ここでは、計画全体から見たご意見ををお願いいたします。
鹿島委員長	作成者の入間市教育委員会博物館とありますが、正式な言い方ですか。
大久保館長	作成者は「入間市教育委員会」になりますが、博物館が所管していることが分かるように標記を工夫していきます。
三浦副主幹	年号の標記について、現在「元号（西暦）年」となっていますが、「元号年（西暦）」の標記に統一します。
鹿島委員長	他にはないですか。それでは、(5)計画の主旨の「主」の字ですが、「趣」の方が適当ではないでしょうか。
児玉委員	「趣」の方がいいと思います。「主旨」は文章や話の中心となる意味や考え方を示すこと、「趣旨」の方は物事の目的や意図を示すということです。計画を進めていくわけですから、「趣」旨の方がふさわしいと考えます。
鹿島委員長	事務局で良く検討してください。他にありませんか。 (他になし)

会 議 録 (4)

発 言 者	発 言 内 容
	次に、「2施設の概要」について、事務局から説明をお願いします。
三浦副主幹	「2 施設の概要」について説明
荒牧委員	別図1-1はスケールと方位が入った方がよいです。蓮花院が地図の範囲外になっていますが、石川家の墓はどこにあるのですか。
三浦副主幹	蓮花院です。
荒牧委員	蓮花院も石川家とも関係があり、観音堂など市の指定文化財があるので入れた方がよいと思います。日光脇往還は入れないのですか。
三浦副主幹	現代の位置図をイメージしましたので、古道は入れておりません。
工藤委員	「繁田住宅長屋門」は「繁田家住宅長屋門」に直してください。 また、石川家住宅（新屋）とありますが、新道です。
河東委員	文字も小さいので、大きくしてください。
三浦副主幹	修正いたします。
工藤委員	国道16号線ですが、昭和40年か41年にできたので、武蔵豊岡教会と西洋館の間には道がなく、本店工場も元の範囲からちょっと寸断されています。昔は旧道で、西洋館、本店工場、一体の敷地になっていたという説明をしておいた方が、実態としてわかります。
三浦副主幹	歴史的な要素の地図は第4章で記述するか検討します。
荒牧委員	カラーで作るなら、河川だけ青で色付けできないでしょうか。別図1-2は図が少し斜めになっていますが、平行になっている方がよいです。
三浦副主幹	修正いたします。
鹿島委員長	他にはいかがですか。 (意見無し) ではそれぞれのご意見を修正した上で次回出してください。 次に「3 現在までの経過」について、事務局から説明をお願いします。

会 議 録 (5)

発言者	発言内容
三浦副主幹	「3 現在までの経過」について説明
鹿島委員長	石川組製糸所の誕生から西洋館の建築、その後の石川本家から進駐軍による使用、市の所有になってから今日までの経緯を年表形式で記載しています。皆さまから確認や追加する項目などございますか。
工藤委員	石川組製糸の操業が明治26年となっていますが、根拠となっている資料はあるのでしょうか。
三浦副主幹	直接的な資料はありませんが、埼玉県「工場調」によるものです。
工藤委員	最近調査をした當摩家の史料によると、明治21年に石川幾太郎が座繰り製糸をしているとの記録があります。
荒牧委員	埼玉県や日本建築学会の調査の記録も入れた方が良いでしょう。昭和56年の『大正建造物調査』や昭和55年頃の『近代建築総覧』には載っていないのでしょうか。
河東委員	『近代建築総覧』には載っています。全国的なものとしては日本最初の近代建築のデータベースです。
三浦副主幹	確認いたします。
工藤委員	『入間市史』も入れた方が良いでしょう。
河東委員	市史も含め文献や図面等は、年表とは別に資料編としてまとめておいたほうが良いでしょう。ここにはどこまで載せるかですが、全国的に知られるようになったきっかけを挙げておけば良いと思います。
荒牧委員	新聞記事は取ってありますか。
大久保館長	スクラップはあります
荒牧委員	載せるかどうかは別としてまとめておいた方が良いでしょう。
鹿島委員長	器械製糸の「器」の字は「器」で良いのですか。

工藤委員	機械の発展過程により区別しています。本表の場合は「器」となります。大正12年に関東大震災の記述をいれてはどうでしょうか。昭和12年に解散していますが、原因は関東大震災や金融恐慌で、一番のきっかけは大震災による被害でした。
小峰委員	世の中や会社の動き、西洋館の動きを分けて書いても良いのではないのでしょうか。
三浦副主幹	会社の経緯などは第4章で年表を入れる検討をしています。
河東委員	分かる項目、特に上棟や解散については「〇月」まで入れた方が良いです。
鹿島委員長	他にございますか。 (意見無し) それでは「4 旧石川組製糸西洋館の概要」について、事務局から説明をお願いいたします。
三浦副主幹	「4 旧石川組製糸西洋館の概要」について説明
鹿島委員長	ただいま説明のありました4章、次の5章については、作成中のところであり、文言や表現は今後変わるものとなりますので、本日は、内容や方向性について確認しておきたい事項など、ご意見ご質問がありましたらお願いします。
青木委員	①石川組の歴史の中に「雨天運動場」とありますが「雨天体操場」ではないですか。
荒牧委員	武蔵豊岡教会は、ヴォーリズの設計で大正12年に建設された説明があった方が良いでしょう。
三浦副主幹	修正いたします。
小峰委員	地域での旧石川組製糸の存在、入間郡での養蚕から製糸に果たした役割が入っていた方が良いでしょう。
工藤委員	幾太郎は茶業にも力を入れていた。コロンビア博覧会で入賞している。茶業について記述があっても良いと考えます。
河東委員	西洋館は、住宅ではなく「迎賓館」として建てられたものです。会社が輸出中心だった記述も、西洋館につながる意味が必要です。

工藤委員	伏線として狭山会社もあります。幾太郎は茶業でも海外に目を向けていた。それで、生糸の輸出にも目を向けた。
小峰委員	後継の豊岡物産も大きな会社だったので、そういったことがわかると親しみがわく人もいます。
三浦副主幹	豊岡物産のほかにも、戦中は中島飛行機の下請も行っていました。地域との関わりも必要です。どの範囲まで記述するか検討していきます。
荒牧委員	掲載する図面はいつ頃のものかわかれば年代を入れた方が良いでしょう
工藤委員	国道16号は「昭和22年」ではなく「昭和42年頃」に作られたと思います。
三浦副主幹	西洋館と教会の間の道は戦後すぐには通っていたようですが確認します。
河東委員	室岡惣七は、東京帝国大学卒業のエリートで、西洋館の設計当時は新進気鋭の建築家でしたが、まだ有名な建築家ではありませんでした。やはり地元出身者ということもあって選ばれたのだと思います。建築的な価値について補足しますと、まず大正から昭和初期の典型的な洋館だということです。明治の古典的デザインは排除し、ヨーロッパの新しいデザインを取り入れています。また、外壁にタイルを用いた建築ですが、大正10年の木造の洋館としてはかなり珍しいと思います。木造ではありますが、太い柱や斜め材、鉄筋などを用いて堅牢性な壁体を作っていることも大きな特徴です。今は国登録文化財ですが、県指定以上の価値は十分あると思います。
鹿島委員長	他にはございませんか。 (意見無し) 次に「5 基本方針」に移ります。事務局より説明をお願いします。
三浦副主幹	「5 基本方針」について説明
鹿島委員長	前回の会議でいただいたご意見で文言を追加し、体裁を少し変更したということです。ご意見ご質問がございましたらお願いします。
工藤委員	「市民が郷土の歴史を理解する上で、また、郷土への愛着を深め、貴重な存在」というふうな記述をされていますが、郷土という言葉は石川組製糸という広域のものに対して非常に小さい概念です。ここは「郷土」という言葉より「地域」という区域的な言葉に変えた方が良いでしょう。 それから、「魅力ある観光資源の一つとしてシティセールスの一翼を担って

	いる」と強調されていますが、冒頭の「貴重な存在」の次の段階なので、「一翼も」に変えた方が良いと思います。
小野委員	これまでの議論の中で、歴史性とか地域性を膨らませるというのはもちろん保存活用のための前提としては良いとは思いますが、今回は保存活用計画になりますので、保存活用についてもう少し高らかに宣言するような文章が欲しいです。それが最初の「計画の趣旨」か、この「基本方針」のところにいれれば良いと思います。今回、何をアピールしていくかということですが、参考になるのは文化庁の指針の中に出てくる「まちづくり」や「担い手の育成」、「地域社会における体制づくり」、それに「保存かつ活用」というキーワードです。まさに今回の保存活用計画は重点的にまちづくり、地域づくり、地域のアイデンティティの形成というところまで深めていけると良いと考えています。
荒牧委員	周辺にある「石川洋行事務所」や「新道の家」はどこかに説明がありますか。関連性の説明が必要だと思います。
三浦副主幹	第4章で記載しています。
鹿島委員長	他にご意見がなければ議事はこれで終了したいと思います。よろしいでしょうか。 (意見無し) では終了ということで議長の座をこれで降ろさせていただきます。ご協力ありがとうございました。
大久保館長	鹿島委員長ありがとうございました。「4 報告」を事務局より説明いたします。
宮岡主任	(1)令和6年度文化財保護事業及び活用状況の報告について 令和6年度の文化財保護事業の実績を報告した。
小峰委員	「古谷重松奉納祭囃子祭礼図絵馬」説明板の場所は久保稻荷神社ですか。
宮岡主任	そのとおりです。
宮岡主任	(2)令和7年度文化財保護事業及び活用計画について 令和7年度の文化財保護事業の経過及び今後の予定を報告した。
三浦副主幹	(3)新規指定文化財の指定について 令和6年度に答申を受けた「老茶樹跡」の新規指定の状況を報告した。

発言者	発言内容
三浦副主幹	(4)旧黒須銀行復元修理工事の進捗について 旧黒須銀行の復元修理工事の現在の状況をスライドにより報告した。
宮岡主任	(5)登録有形文化財（建造物）の新規登録について 国へ登録の手続きを行っていた「繁田家住宅長屋門」が、文化審議会から登録に係る答申を受けたことを報告した。
	(6)市指定文化財「藤沢橋石造物群」の状況について 藤沢橋改修工事で一時的に移転していた石造物群について、工事完了により元の場所へ戻り、新たに2基の石造物が併設されたことを報告した。
小峰委員	藤沢橋石造物群の移転で併設された2基の石造物については、追加指定の方向でよろしいと考えます。
大久保館長	「5 その他」について、事務局から説明いたします。
三浦副主幹	次回の会議は12月頃を予定しております。
	閉会

事のてん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

令和 7 年 9 月 10 日

議 長 の 署 名

議長が指名した者の署名

鹿島 英明
青木 和子